

1月11日

申  
3  
2  
号

## 中央線特急新着席サービス導入 に関する申し入れを行う！

会社は、10月30日に「中央線特急に新たな着席サービスを導入します」をプレスリリースし、特急「あずさ」「かいじ」がE353系に統一される2019年春より新着席サービスを導入することを発表しました。また、12月14日には「2019年3月ダイヤ改正について」をプレスリリースし、中央線特急列車について「あずさ」「かいじ」をE353系に統一、「富士回遊」「はちおうじ」「おうめ」を新設、新着席サービスを導入し、利便性・快適性向上を図るとしています。

しかし、関係する現場では未だ教育・訓練が行われず、今後業務がどのように変化していくのかという不安の声が地本へ寄せられています。また、これらのプレス発表に対する反響は大きく、特に山梨県内においては地元新聞に大きく報じられ、甲府市議会からは社長宛に『「あずさ回数券」廃止に対する申し入れ書』が提出されました。安全であることは勿論、誰もが便利で快適にご利用いただけるサービスを提供していくことは公共交通を担う企業としての責務であり、ご利用いただいている皆様の声として受けとめるべきです。常磐線に次いで新着席サービスを導入することになりますが、導入にあたって発生してきた課題を解消し、万全な体制で実施することを求めます。

したがって、以下のとおり申し入れを行いますので、具体的な回答と真摯な議論を要請します。

### 記

1. 新着席サービスを中央線特急に導入する目的、及び実施するに至った根拠を明らかにすること。
2. 新着席サービス導入に関して、社員説明や教育・訓練も行わずにプレスリリースを行ったことに対する見解を明らかにする事。
3. 常磐線特急において、新着席サービス導入により発生している課題を明らかにし、中央線特急に導入する際は課題を解消するよう対策を行うこと。
4. 現行の中央線特急の乗車人員（調査区間とそれ以外の区間）、及び車内での乗車券類の発売枚数を明らかにすること。
5. ホーム上の指定席券売機について、各駅の設置状況及び今後の整備予定を明らかにし、乗車券類の事前購入ができるように対策すること。
6. 新着席サービス導入に伴う営業制度の改正について明らかにすること。
7. 中央線特急に導入する「えきねっとチケットレスサービス」の車内での取扱いを具体的に明らかにすること。
8. 特別企画乗車券を見直す理由と根拠を明らかにし、発売時期や使用可能な期間を速やかに関係箇所及びお客さまに周知すること。また、存続の要望が多い特別企画乗車券については存続させること。
9. 下記の新着席サービス導入後の取扱いを明らかにすること。
  - ① E257系で運転する臨時列車について。
  - ② E353系からE257系へ車種変更した場合について。
  - ③ 新着席サービスのシステム故障時について。
  - ④ 列車遅延時及び臨時停車した場合について。
  - ⑤ 輸送障害発生時に長野支社管内で行っている便宜乗車について。
10. 調整席及び車内割り当て席を、現行と同数確保すること。
11. トンネル区間の電波状況を改善すること。
12. 房総料金回数券が利用対象外となることから、千葉支社管内において新着席サービス導入のお客さま周知を徹底すること。
13. 新着席サービス導入に向け、現車訓練を実施すること。
14. 特急列車における「運転担当」と「客扱担当」の業務内容について、考え方を明らかにすること。
15. 「中央ライナー」と「青梅ライナー」の乗車人員及び車内でのライナー券の発売枚数を明らかにすること。
16. 「中央ライナー」と「青梅ライナー」の廃止をお客さまへ速やかに周知すること。また、廃止に伴うご意見については、会社が責任を持って対応すること。
17. 中央線特急では、外国人のお客さまも多く混乱が予想されることから、当面の間お客さま対応のため支社社員等を添乗させること。また、ご意見やトラブルには会社が責任を持って対応すること。

以上